

2月以降の委員会運営の課題について

1. 委員会・部会等の運営について

- ・2つの地域別部会と1つのテーマ別部会に所属し、WGの活動もあり、委員の負担が大きい。
- ・地域別部会は定足数の確保に苦勞することがある。
- ・全体委員会と地域別部会で議論の重複がある。

1-1 部会構成・開催頻度について

- ・全体委員会に一本化する。(全体委員会と地域別部会で議論が重複している。)
- ・地域別部会に事業評価の役割を果たす責任と権限を持たせる。(整備計画への意見は全体委員会で行う。)
- ・全体委員会と地域別部会の関係を今までどおり維持する。

1-2 委員の所属部会数、定足数について

- ・「一委員、一地域部会所属」とする。
- ・「一委員、一地域部会所属」とする。ただし、代理出席を可とする。(事前の議長承認)
- ・部会開催数を減らす条件のもと、これまでどおり「一委員、二地域部会所属」とする。
(部内のWGや検討会での意見形成の進捗にあわせた部会開催とする。)
- ・別途案 規約を改正して定足数を変更する。

2. 会議等の合理化・効率化について

2-1 会議開催等の年間管理について

- ・河川管理者から年間の予算額をあきらかにしてもらい、委員会はそれにもとづき年間の会議開催を管理するという方法を検討する。

2-2 情報手段等に関する効率化について

- ・資料、報告、概要、議事録、NL等の情報公開手段の効率化の検討を行う必要がある。

以上